

アジア・日本研究所

Asia-Japan Research Institute



アジアを基軸に新たなアジア・日本研究を追求し 未来のアジア・日本における共通ビジョンの形成を目指す

「アジア太平洋地域に位置する日本の学園」という認識のもと、「多文化共生の学園を確立する」。「立命館憲章」にそう謳われているように、立命館大学は「アジアの中の日本」を視座にグローバル化を推進しています。その一環として、アジアを基軸に置いた新たなアジア研究、アジア・日本研究を追求するため、2015年、アジア・日本研究所は設立されました。未来のアジア・日本の共通ビジョンを形成することを使命に掲げ、アジア全体と日本における「多文化共生社会」の実現に寄与する研究を推進しています。

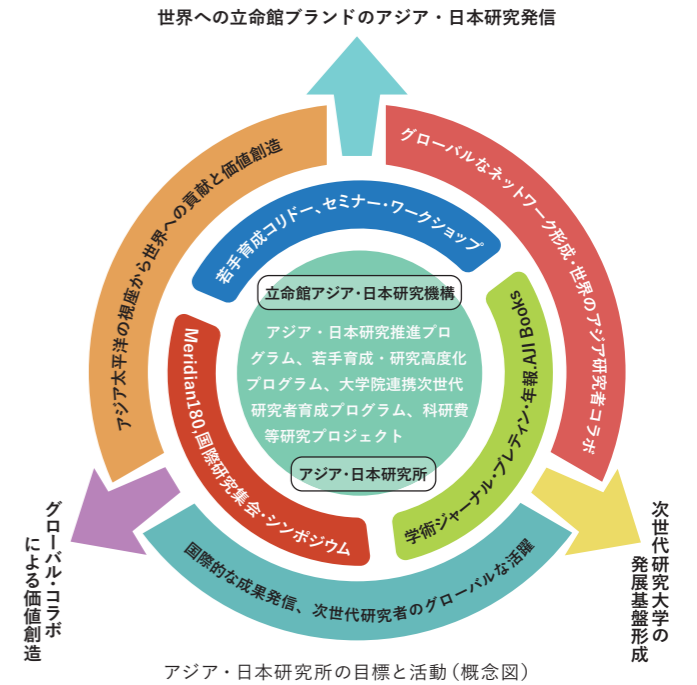
本研究所の特長は、人文科学・社会科学のみならず自然科学分野も含め、学際的かつグローバルに研究に取り組むこと

にあります。「アジアのゲートウェイ」を掲げる立命館大学大阪いばらきキャンパスを拠点とし、アジアからの研究者や留学生も参画して独創的な研究に挑んでいます。特に重視しているのが、次世代の「アジア・日本研究」をリードする若手研究者の育成です。若手研究者の研究活動とキャリア形成をサポートするシステムを構築。グローバルに成果を発信する機会も豊富に提供し、大きな成長を後押ししています。

2016年に「アジア・日本研究推進プログラム」をスタート。「共生」「共創」「協働」の3つの研究領域で、精力的に研究活動を展開しています。「共生」領域では、従来の欧米中心の歴史観から脱却し、アジアの視点から新たな世界史像を再構築

する研究や、東アジア圏での科学的根拠に基づく育児・就労支援の構築に取り組み、日本とアジア、そしてアジア全体の新しい「共生」のあり方を模索しています。「共創」領域では、インドネシア歴史文化遺産のデジタルアーカイビングやベトナムとの農畜水産業を支える環境技術の共同研究など、情報技術や自然科学の分野でアジアと共創の経験を重ねています。また「協働」領域では、アジアにおける現地主導の人道支援、国際人口移動時代における寛容な社会創出などの課題を通じて新たな関係構築に寄与する研究に尽力しています。

さらに2019年にアメリカにあるノースウェスタン大学と協力協定を結び、国際オンライン多言語プラットフォーム「Meridian180」で成果を発信するプロジェクトを推進しています。立命館大学は「Meridian180」の日本における唯一のパートナー大学であり、本研究所はその事務局を務めています。このプロジェクトを通じて日本、アジアから国際社会に資する価値を創造し、世界に力強く発信していくことが今後の課題。世界に貢献する知の創出を目指していきます。



■ ジャーナル紹介



Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University (略称:『AJI Journal』) 2019年7月創刊

年1回発行の英文誌(オンライン+冊子体)。厳密な査読システムで、論文を審査(J-STAGEに登録されています)。日本語・アジア諸語の研究書を紹介する書評、アジア・日本研究推進プログラムの報告も掲載しています。



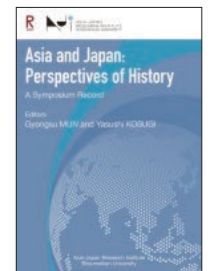
Asia-Japan Research Academic Bulletin (略称:『Asia-Japan Academic Bulletin』) 2019年11月創刊

通年発行のオンライン英文誌。随時受け付け、査読が終了次第の掲載で、スピーディに投稿に対応。厳密な査読システムで、論文と研究ノート審査(J-STAGEに登録されています)。研究報告、書評(対象書籍の言語は自由)も掲載しています。



『立命館アジア・日本研究学術年報』(略称『アジア・日本研究学術年報』) 2020年6月創刊

年1回発行の和文誌(オンライン+冊子体)。厳密な査読システムで、論文と研究ノートを審査(J-STAGEに登録されています)。立命館大学、立命館APU大学の教員・研究者の書籍を書評して、立命館のアジア・日本研究を広くお知らせしています。



AJI Books (AJIブックス) 2021年1月創刊

研究所の研究成果や研究活動の記録を、主として英文の書籍として刊行しています(おむね80~150頁)。これからは、国際発信をさらに強め、海外の大学や研究機関との共同での刊行もおこないます。

主な研究テーマ(アジア・日本研究推進プログラム、研究所重点研究等の研究課題)

- アジアからの世界史像の再構築
- アジア的文明・発展経路の多元性
- アジアと日本における多文化共生と相互理解
- グローバル化時代の日本哲学の国際貢献
- 政策科学研究によるアジア都市論
- ポストメディア時代の東アジアの文化芸術
- アジアの核危機と安全保障：地域間比較
- アジアの持続型発展・循環型社会
- 農畜水産業を支える環境技術の日越研究連携
- アジアにおける現地主導の災害管理と人道支援
- インドネシア歴史文化遺産のデジタルアーカイビング
- 東アジア漢字文化圏における日中韓の交流
- アジアの伝統医薬と食材探索を用いた糖尿病予防
- アジアのジェンダー平等をめざす政策提言
- 世界経済の分断と東アジアの地域協力
- 現代アジアのエスニシティとディアスポラ
- 東アジアのグリーンリカバリーと炭素中立の実現
- 混合的手法による新たな地域研究の探求
- 穏健なアジア・イスラームと社会発展



研究所長：小杉 泰(立命館アジア・日本研究機構 教授)
 主な研究拠点：大阪いばらきキャンパス
 お問い合わせ：立命館大学 研究部 RARA オフィス TEL: 075-813-8199 FAX: 075-813-8202 〆: aji-res@st.ritsumei.ac.jp
<http://www.ritsumei.ac.jp/research/aji/>

